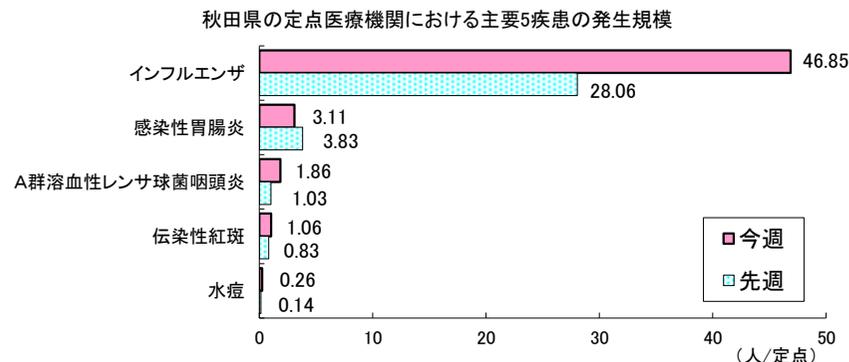




【第4週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

- 1. インフルエンザは、県全体で67%増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で増加、能代で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で19%減少しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田で増加、横手、湯沢で同規模、能代、秋田中央、由利本荘、大仙で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で81%増加しています。保健所別では、秋田市、大館、由利本荘、大仙、横手、湯沢で増加、秋田中央で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

Table with 11 columns for municipalities (Akita Prefecture, Akita City, Oguni, Kitaakita, Noshiro, Akita Chuo, Yuribandi, Oshino, Yonezawa) and 3 columns for weeks (3rd, 4th, change). Rows list various infectious diseases like RS virus infection, Influenza, etc.

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↑」は増加を、「↓」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から1人、横手保健所管内から4人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-3週 全国	秋田	4週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	723	2	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
鳥インフルエンザ(H7N9)				
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	5		
	腸管出血性大腸菌感染症	58		
	腸チフス	1		
バラチフス				
四類	E型肝炎	17		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	46	5	
	エキノкокクス症			
	黄熱			
	オウム病	3		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	1		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-3週 全国	秋田	4週 秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	25		
	デング熱	22		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱			
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症			
	マラリア	4		
	野兔病			
	ライム病			
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	77			
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
五類	アmeerバ赤痢	27		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	11		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	90	1	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	3		
	急性脳炎	68		
	クリプトスポリジウム症			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	49		
	後天性免疫不全症候群	22		
	ジアルジア症	1		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	45		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	4		
	侵襲性肺炎球菌感染症	249		
	水痘(入院例に限る)	20		
	先天性風しん症候群			
	梅毒	200	1	
	播種性クリプトкокクス症	8		
	破傷風	2		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3			
百日咳	688	14	5	
風しん	207			
麻しん	67			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1			

トピック

<感染性胃腸炎に気をつけましょう>

今週(平成31年第4週)、社会福祉施設等での感染性胃腸炎の集団感染が今シーズン最多の8件報告されました(5ページ参照)。定点あたりの感染性胃腸炎患者数は先週に比べて減少していますが、引き続き気をつけましょう。

■症状

嘔吐や下痢といった症状が数日続きますが、通常、これらの症状は2~3日で治まります。しかし、乳幼児や高齢者では、嘔吐物がのどに詰まり窒息を起こしたり、ロタウイルスが原因の場合には乳児に腸重積(腸の一部が隣接する腸内にはまり込んでしまう状態)や脳症等の重篤な合併症を起こすことがあります。

■予防

予防には、手洗いが重要です。感染性胃腸炎の原因となるノロウイルスは少量で感染します。トイレの使用後や調理・食事の前には、石けんをよく泡立ててしっかりと手を洗いましょう。また、患者の便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれています。これらを処理する際には手袋やマスクを着用しましょう。消毒には塩素系漂白剤を用いて(図)、適切に処理することが周囲への感染拡大防止のためにも大切です。

塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

製品の濃度	食器、カーテンなどの 消毒や拭き取り 200ppmの濃度の塩素消毒液		おう吐物などの 廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppmの濃度の塩素消毒液	
	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L



- ▶製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。

図 塩素消毒液の作製方法

出典 厚生労働省HP>感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>



2018年/2019年シーズン (2018年第36週 : 9月3日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

インフルエンザの発生規模が、警戒レベルである定点あたり30を超えました。
今後の推移に注意し、手洗い等の感染予防を心がけましょう。

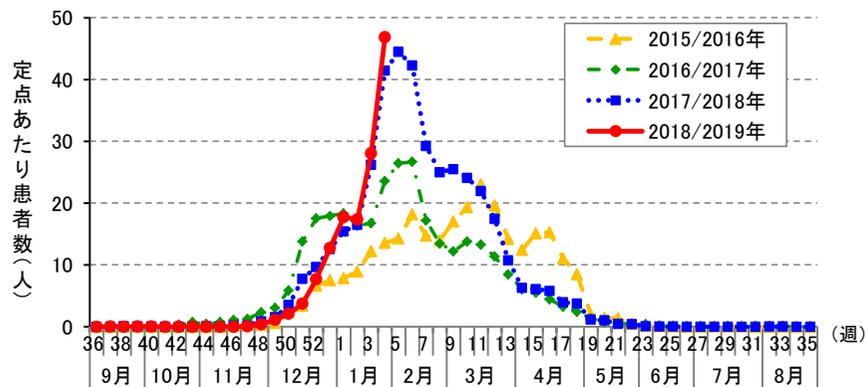


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2018/2019シーズン
秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)			
秋田県		全国	
1/21～1/27 (4週)	累計	1/14～1/20 (3週)	累計
56	138	3,321	8,995

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8ヵ所、全国約500ヵ所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間	備考
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
由利本荘市	川内保育園	1/22	55 名のうち 15 名	24 名のうち 0 名	15 名	1/16 ~ 1/22	RSウイルス感染症2名、インフルエンザA型2名、アデノウイルス感染症1名の診断



社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が29件報告されました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数		
				利用者(園児、入所者等)	職員	計
40	大館市	城南保育園分園	1/21	50 名のうち 6 名	30 名のうち 4 名	10 名
41	大館市	東館保育園	1/21	40 名のうち 23 名	14 名のうち 4 名	27 名
42	大館市	宮の杜神明こども園	1/21	124 名のうち 18 名	29 名のうち 1 名	19 名
43	北秋田市	認定こども園しゃるーむ	1/21	125 名のうち 11 名	42 名のうち 5 名	16 名
44	上小阿仁村	かみこあに保育園	1/21	43 名のうち 7 名	14 名のうち 3 名	10 名
45	藤里町	障害者支援施設 虹のいえ	1/21	62 名のうち 12 名	40 名のうち 0 名	12 名
46	能代市	能代厚生医療センター (5A病棟)	1/21	38 名のうち 5 名	31 名のうち 9 名	14 名
47	潟上市	若竹幼児教育センター	1/21	95 名のうち 19 名	32 名のうち 0 名	19 名
48	秋田市	河辺保育所	1/21	142 名のうち 16 名	40 名のうち 2 名	18 名
49	秋田市	榎山保育園	1/21	110 名のうち 21 名	31 名のうち 0 名	21 名
50	秋田市	寺内保育所	1/21	133 名のうち 19 名	41 名のうち 4 名	23 名
51	由利本荘市	特別養護老人ホーム 東光苑	1/21	65 名のうち 6 名	52 名のうち 2 名	8 名
52	大仙市	協和まほろばこども園	1/21	122 名のうち 11 名	33 名のうち 2 名	13 名
53	横手市	さんない保育園	1/21	63 名のうち 15 名	20 名のうち 2 名	17 名
54	大館市	たしろ保育園	1/22	129 名のうち 10 名	40 名のうち 0 名	10 名

No	所在地	施設名	報告日	有症者数		
				利用者(園児、入所者等)	職員	計
55	大館市	秋田労災病院 (2階西病棟)	1/22	32 名のうち 7 名	32 名のうち 3 名	10 名
56	北秋田市	南鷹巣保育園	1/22	97 名のうち 17 名	19 名のうち 2 名	19 名
57	秋田市	あきた中央こども園	1/22	134 名のうち 13 名	34 名のうち 4 名	17 名
58	大館市	大館市立総合病院 (11病棟)	1/23	27 名のうち 6 名	34 名のうち 6 名	12 名
59	藤里町	グループホーム どんぐりハウス	1/23	4 名のうち 2 名	7 名のうち 0 名	2 名
60	秋田市	ショートステイ むすびの郷	1/23	34 名のうち 7 名	21 名のうち 3 名	10 名
61	秋田市	聖園学園短期大学 附属聖園幼稚園	1/23	190 名のうち 17 名	27 名のうち 2 名	19 名
62	秋田市	かんば保育園	1/23	125 名のうち 10 名	49 名のうち 1 名	11 名
63	秋田市	土崎カトリックこども園	1/24	182 名のうち 18 名	40 名のうち 1 名	19 名
64	横手市	特別養護老人ホーム さくら	1/24	29 名のうち 6 名	26 名のうち 5 名	11 名
65	八峰町	特別養護老人ホーム 松波苑	1/25	82 名のうち 11 名	69 名のうち 2 名	13 名
66	男鹿市	男鹿みなと市民病院 (3B病棟・4B病棟)	1/25	80 名のうち 5 名	63 名のうち 5 名	10 名
67	秋田市	第二ルンビニ園	1/25	152 名のうち 16 名	36 名のうち 2 名	18 名
68	秋田市	特別養護老人ホーム 高清水寿光園	1/26	115 名のうち 4 名	95 名のうち 6 名	10 名

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズンの報告数

68施設: 社会福祉施設15、保育所・幼稚園44、病院9

<参考>

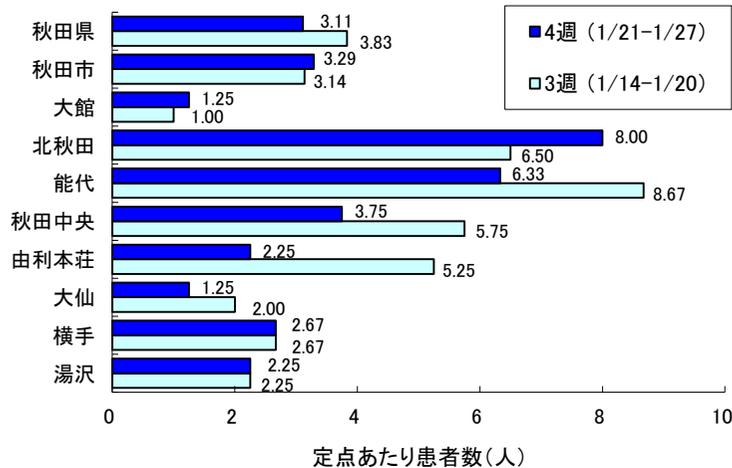
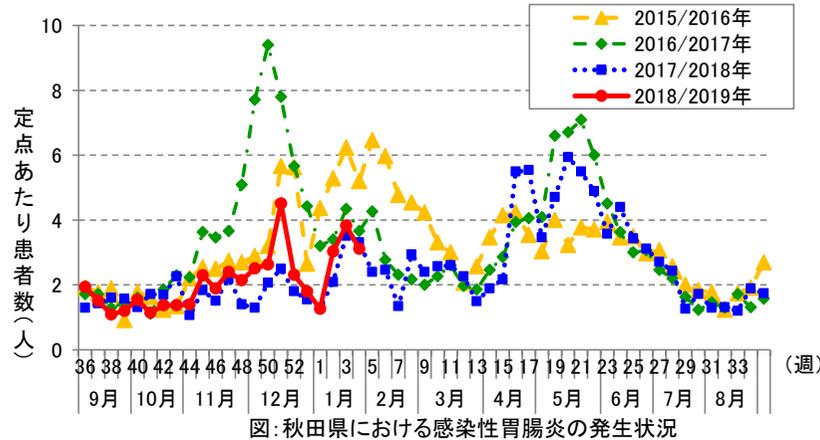
○昨シーズンの年間報告数

170施設: 社会福祉施設44、保育所・幼稚園119、病院7

※原則、10人以上または
利用者の半数以上の
発生報告です。



感染性胃腸炎情報



社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が8件ありました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児、入所者等)	職員	計			
36	三種町	グループホーム 和光園	1/21	10 名のうち 5 名	5 名のうち 0 名	5 名	1/18 ~ 1/20	発熱、嘔吐、下痢	ノロウイルスを検出
37	三種町	グループホーム はやさきの家	1/21	3 名のうち 3 名	3 名のうち 0 名	3 名	1/18 ~ 1/20	発熱、嘔吐、下痢	ノロウイルスを検出
38	能代市	ニツ井子ども園	1/21	80 名のうち 13 名	27 名のうち 0 名	13 名	1/19 ~ 1/21	発熱、嘔吐、下痢	ノロウイルスを検出
39	五城目町	もりやまこども園	1/21	185 名のうち 17 名	47 名のうち 5 名	22 名	1/12 ~ 1/20	嘔吐、下痢	ノロウイルスを検出
40	横手市	明照保育園	1/23	121 名のうち 8 名	30 名のうち 2 名	10 名	1/23	嘔吐、下痢	ノロウイルスを検出
41	三種町	グループホーム ながおまての家	1/24	3 名のうち 2 名	1 名のうち 0 名	2 名	1/20 ~ 1/23	嘔吐、下痢	ノロウイルスを検出
42	能代市	きみまち子ども園	1/25	58 名のうち 14 名	23 名のうち 1 名	15 名	1/19 ~ 1/25	嘔吐、下痢	ノロウイルスを検出
43	湯上市	出戸こども園	1/25	168 名のうち 10 名	43 名のうち 0 名	10 名	1/24 ~ 1/25	嘔吐、下痢	ノロウイルスを検出

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

- 平成30年度の報告数
43施設 有症者599名:社会福祉施設4、保育所・幼稚園38、病院1
- 平成29年度の年間報告数
42施設 有症者637名:社会福祉施設8、保育所・幼稚園34

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	秋田中央(29.67)、大仙(23.71)	秋田市(71.09)、大館(68.00)、北秋田(57.67)、能代(24.50)、由利本荘(42.67)、横手(40.40)、湯沢(39.80)
水痘	能代(1.33)	-
伝染性紅斑	-	大館(8.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		